

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ☆最初のISS構成要素打上げから2447日経過しました
- ☆第11次長期滞在クルーのISS滞在は108日経過しました
- ☆ISS動向

第11次長期滞在クルーのセルゲイ・クリカレフとジョン・フィリップス両宇宙飛行士は、スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-114)のクルーと共同作業を行っています。

ディスカバリー号で運ばれた補給物資等をISSに移した後は、ISSで不要になり地球に持ち帰る不要品や廃棄物を、ISSにドッキングしている多目的補給モジュール(Multi-Purpose Logistics Module: MPLM)に詰め込む作業を行います。



長期滞在クルーとSTS-114のクルー(右奥が野口宇宙飛行士)

MPLMからISSに物資輸送するクリカレフ宇宙飛行士

“スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-114)ミッション動向”

7月26日午後11時39分に打上げられたスペースシャトル・ディスカバリー号(STS-114)は、7月28日午後8時18分にISSとドッキングし、順調にミッションを進めています。現在までのSTS-114ミッションの様子を写真でご紹介致します。STS-114最新情報は、<http://sts-114.jaxa.jp/>をご覧ください。

飛行1日目 7月26日



打上げ

飛行2日目 7月27日



熱防護システム点検

飛行3日目 7月28日



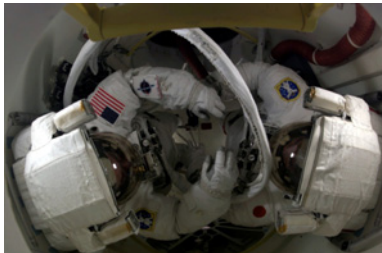
ISSとのドッキング

飛行4日目 7月29日



多目的補給モジュールをISSに取り付け、物資輸送、船外活動準備

飛行5日目 7月30日



第1回船外活動

飛行6日目 7月31日



物資輸送、メディアインタビュー、船外活動準備

“トピック”

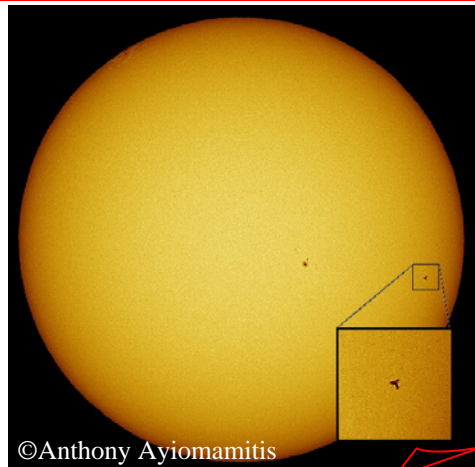
☆ISS、太陽面の通過写真

スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-114)がドッキングしたISSが太陽面を通過する写真が撮影されました。この写真は、天文学者がギリシャのアテネから現地時間7月28日に撮影したものだそうです。

早朝や夕刻にキラキラ輝くISSを拡大撮影するのも高度な撮影技術が必要ですが、太陽面を通過するISSをシルエットで捉えるのは更に難しく、観測地と太陽の間にISSが通過するという機会と、ISSが太陽面を通過する一瞬を捉える技術が伴ってできることです。

写真出典：<http://antwrp.gsfc.nasa.gov/apod/ap050729.html>

注：望遠鏡や肉眼で太陽を直視しないでください。



©Anthony Ayiomamitis

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。